

122 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和6年 3月 1日

事業所名 きらり玉島

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6	0	・活動によって部屋の使い方を変えながら過ごしている。	・今後も利用児さんの状況に合わせて環境を設定していく。
	2	職員の配置数は適切である	6	0	・個別での対応を重視している ・玉島内の職員で適宜声を掛け合いながら安全に運営をしている。	・今後も職員間で連携をして支援を実施していく。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	3	3	・工夫している点は、個別の活動スペースや各活動をエリアごとに区別している点。	改善点は急な階段がある点。職員が付き添い、見守りながら安全に過ごせる様に配慮する。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6	0	・終礼で子どもの様子の振り返りを行い、共有している	・引き続き丁寧な振り返りを実施する。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6	0	毎年アンケートを実施して、結果を法人、市のホームページに公表をしている。	・保護者の評価を参考に、業務改善に繋げる。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	0	・毎年公開をしている。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	6	0		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	1	・定期的に研修を受けさせてくれたり、知らせてくれたりするところ。就学後のことも研修で学んでいきたい。 毎月1回担当職員が事業所内研修を実施。 ・年間で何をするか予定を決めて実施。	・今後も職員の質の向上の為に研修に積極的に参加出来る体制を整えていきたい。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6	0	・アセスメントシートを活用したり、保護者のニーズを把握したりして計画を立案している。	・引き続き丁寧なアセスメントを実施する。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6	0		・引き続き丁寧なアセスメントを実施する。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	5	1	・担当職員が活動は概ね決めているが、職員間で共有し、分からないことは相談している。	・児発管を主として、チームで計画を考えている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6	0	・お買い物活動や制作活動をしている。 ・本人とのやりとりを大切にしている。 ・放デイの利用児に合った活動を実施している。	・一人ひとりにあった活動を設定している。また、利用児さんのやりたい活動の希望も聞き取りながら今後も活動を工夫していく。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	3	3	・不登校支援の為に、支援に特化している	・利用児さんの状況に合わせた支援を引き続き実施していく。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	4	2	・個別活動に偏る傾向にある。 ・事業所の特性上、職員とのマンツーマンでの関わりが多くなってしまふ。	・長期休暇中は集団で活動できるように設定していきたい。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6	0	・朝礼で行なっている ・毎回朝礼と終礼を通して子どもの姿の振り返りや当日の役割を話している。	・引き続き職員間での打ち合わせの時間を大事に支援にあたる。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6	0	・終礼で利用児のこと・家族のこと・園のことを共有している。 また、支援の中での気づきを話し合っている。	・引き続き実施していく。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6	0	個別支援計画書の内容に沿った記録を実施している。	・引き続き実施していく。

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6	0	・日々個別支援計画書に沿った内容で課題を実施して、見直しを行っている。	・引き続き実施していく。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	6	0	・ガイドラインの内容を参考に、活動を立案している。	・職員間でもガイドラインについて共有をしていき、支援を実施していく。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6	0	・児童発達支援管理責任者が参画して立案をしている。	・引き続き実施していく。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	5	1	・学校側と訪問、電話連絡等を介して情報共有を実施している。 ・トラブル時には適宜学校、保護者、きりり間で共有して今後の方向性を話し合っている。	・話し合いが出来ていない学校もある為、今後は学校側にも理解してもらい、間に入っていきたい。学校側へも理解してもらえる様に、働きかけていく必要がある。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている				
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	4	2	・就園中は情報共有が出来ていたが、就学後は園とコンタクトは取れていない。	必要に応じて就園前の場にも聞き取り等を行いながら連携を図りたい。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している				・学校卒業後の利用児さんはまだいない状況である。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	1	・事業所内で定期的に研修を行なっている。	法人内でも研修を実施しており、今後も専門的な視点を現場の中で取り入れていきたい。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	2	4	・地域の児童館の方等の交流はあまりない。	・児童クラブの職員とは勉強会等で交流を図っている。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	3	3	子ども部会への参画をしている。今後も積極的に参加をしていき、他事業所の職員とも交流を図りたい。	職員間でも自立支援協議会の内容についても周知を図っていききたい。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6	0	きりりに来てない月は、電話で日々の様子を共有している。	今後も定期的に保護者と家庭での様子等を共有して、支援に繋げていきたい。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	6	0	毎年実施している。	今後も引き続き実施していく。
保護者への説	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6	0	契約時に書面を用いて個別に説明を実施。	今後も丁寧に説明を実施する。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6	0	保護者からの相談は適宜応じて、必要な助言をしている。それを、職員間でもすぐに共有をしている。	引き続き相談に適宜応じて、保護者に寄り添った支援を実施していく。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	5	1	保護者座談会などを通して、保護者同士で話し合える機会を年数回設けている。	今後は、母親だけではなく、父親も参加出来る場を作っていきたい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6	0	・保護者からのご意見に対しては、真摯に受け止めて、対応を職員間で話し合い、整備している。	今後も保護者の方からのご意見も参考に運営にあたっていく。

明責任等	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	0	・玄関に張り紙をしたり、ケアラボで発信したりしている点 ・1ヶ月に1回通信を発信している。	・引き続き必要な情報を発信する。
	35	個人情報に十分注意している	6	0		・Instagram等に掲載する際には、保護者には写真とともに確認を実施している。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	0		・個別で懇談を実施する等適宜状況に応じた配慮を実施していく。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	4	2	・コロナが明けたばかりのため、これから考慮していきたい。 ・ボランティアさんと呼んだり、他の地域の不登校支援の情報があれば保護者に共有したり、一緒に座談会等に同行したりしている。	・今後は地域の方との交流も図っていきたい。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	6	0	・訓練する日を変えたり、色々な災害を想定して避難訓練を定期的に行なっている点	・今後もマニュアルに日頃から目を通したり、見直したりしていきたい。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4	2	放デイの利用児は、登園の兼ね合いもあり、出来ている方もいれば、そうでない人もいる為、今後全員が参加出来る様にしていきたい。	・利用児さん全員が避難訓練を経験出来るように配慮していきたい。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6	0		・今後も研修を行いながら、適切な方法を学んでいきたい。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	3	3		・身体拘束の規定等については、今後職員間でもしっかりと周知していきたい。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6	0		・今後もマニュアルに沿った対応を実施していく。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6	0	・職員会議・終礼などで、事業所内で共有をしている。今後の対応を含めて検討をしている。	・引き続き、職員間で振り返りを行ない、事故・ヒヤリ等の原因や対策を考えていきたい。